

議会活動フォト



- ① 柔道・松本馨選手
ロンドン五輪の金メダリストである松本馨選手が金沢市スポーツ大使に任命されました。
- ② LRT (次世代型路面電車システム)
富山市で導入されたLRTを視察し、金沢市における新交通システムとしての可能性を検討してきました。
- ③ 全国竹とんぼ大会
全国からたくさんの竹とんぼ愛好家が金沢城に集結しました。
- ④ 食文化かなざわ大会 2014
北陸新幹線開業に向けて、工芸と並び、食の情報発信は大変重要な施策です。



《喜多浩一プロフィール》

昭和 45 年 5 月	野町に生まれる	平成 9 年 4 月	今村証券株式会社入社
52 年 3 月	藤蔭幼稚園卒	23 年 1 月	// 退社
58 年 3 月	森山町小学校卒 (金沢東警察署で少年剣道)	23 年 4 月	金沢市議会議員選挙に初当選
61 年 3 月	星稜中学校卒 (剣道部主将)	野町校下青年会・野町弥生消防分団所属 金沢市泉本町に在住	
平成 元 年 3 月	金沢泉丘高校卒 (剣道部主将)	資格：証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー 宅地建物取引主任者	
9 年 3 月	早稲田大学卒	家族：妻、長男(米泉ドジャース→石川中央ボーイズ)、次男	

喜多浩一通信

Vol.12 発行・喜多浩一



山野市長の突然の辞任から 2 度の市長選を経て

まさに激動の100日間でした。山野市長が場外車券場問題の道義的責任を取り、突然の辞任を発表したのが8月18日。そして、9月3日に再出馬を表明してから、10月5日、11月30日の2度の選挙を経て、山野市長は再選されました。その間の10月議会最終日には百条委員会の設置も可決され、金沢市政の歴史の中でも、後世まで長く語り継がれる反省すべき期間であったと言えます。

私自身も終生忘れることができない多くの出来事に遭遇しました。その中でも、山野市長自身から辞職を伝えられた時の大きな衝撃と無念さは、これまでの私の人生においてなかったものであり、その後の混乱の中で2度にわたる市長選挙も又しかりでした。

来年3月14日に迫った北陸新幹線の開業に向けて、これ以上の市政の停滞は許されません。私も、これまで積み残してきたものを再確認し、残り少なくなった任期を全力で駆け抜けていくつもりです。ぜひとも今までと変わらぬ叱咤、激励を賜りますよう切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、この「喜多浩一通信」も今号で12回目の発行となりました。バックナンバーにつきましては、下記ホームページにてご覧いただけますので、アクセスしていただければ幸いです。

<http://www.kita-koichi.com/archive2/>

(喜多浩一)

平成26年市議会10月定例会での主な一般質問と答弁の要約

◎外資系ホテルの誘致について

〈喜多浩一〉
北陸新幹線開業による経済効果をさらに高めるとともに、都市の魅力と発信力の向上を目指し、外資系ホテルの誘致に積極的に取り組むとのことですが、現在の誘致状況についてお答え願います。

〈山野市長〉
外資系ホテル誘致は、海外からの富裕層の来訪や国際会議の誘致に大きく寄与し、にぎわい創出につながると考えています。現在、駅西広場周辺の公共用地等を活用した立地の可能性について調査を進めています。

◎空き家対策条例と空き家管理サービスについて

〈喜多浩一〉
市に対して、空き家問題に対する問い合わせが非常に多くなってきており、今後、空き家対策条例の制定など対策が必要と考えますが、空き家管理サービスのビジネスと併せて、お答え願います。

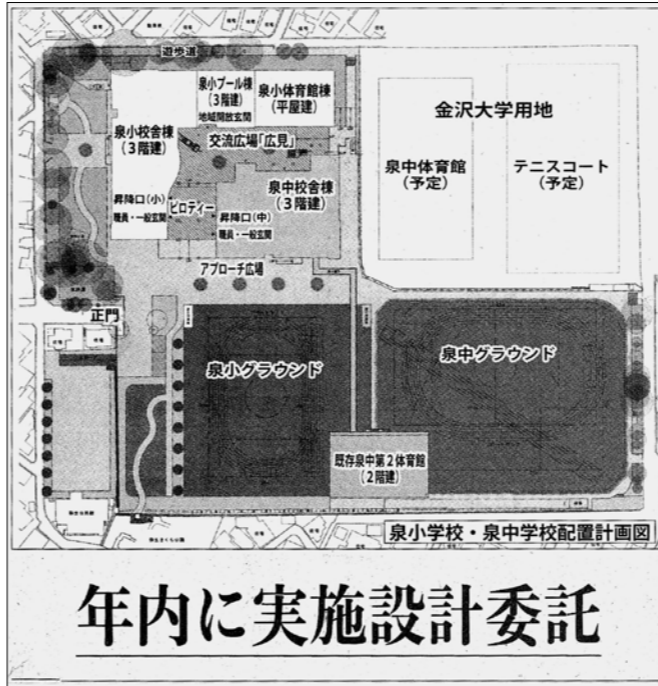
〈山野市長〉
空き家対策条例については、立ち入り調査権や勧告、公表などの行政指導の側面に加え、市民意識の向上、コミュニティー醸成などの視点が重要であります。今後、法律の専門家や有識者、不動産などの業界団体、コミュニティー関係者等からなる検討会を立ち上げていきます。

空き家管理サービスのビジネスについても、部局間との連携を密にしながら、サポートをしっかりしていかなければと考えています。

◎金澤町家の保全と再生について

〈喜多浩一〉
短期的な視点からの経済的利益だけを追求し、古き良き文化が壊されていく風潮は、歴史と伝統のまちである本市にとって好ましいものではありません。もっとも、家というのは私有財産です。しかし、同時にそれがそこにある限り、地域や暮らしに影響を及ぼすものですから、一個人のみではなく、ある意味、市の共有財産ぐらいに考えるべきです。町家保全と再生について、今後のまちづくりに絡めて山野市長のビジョンをお聞きいたします。

〈山野市長〉
金沢は、歴史、伝統、文化を大切にしてきた街であります。町家を残していくということは、金沢の文化、歴史を残していくことに直接つながる大切なテーマだと考えています。金澤町家の保全と活用については、旧城下町区域を中心とした歴史的な市街地を対象に重点的に取り組む中で、その拠点として「金澤町家情報館」の整備を進めているところであり、今後とも努力していく所存です。



現代版『厩』挟む空間構成
金沢市は、泉小学校・C造3階建て延べ約6800平方メートル、体育館は00平方メートルで、体育館は既存の第2体育館を使用する。小学校と中学校ゾーンは現代版『厩』（交流広場約1837平方メートル）を挟んで向き合う空間構成となり、広見を中心に一体的な学校環境を形成し、多様な交流創造の場としても活用。また、小中一体整備のメリットとして、児童生徒や教職員のアプローチの共有化を図り、自然発生的な交流

金沢市は、泉小学校・C造3階建て延べ約6800平方メートル、体育館は00平方メートルで、体育館は既存の第2体育館を使用する。小学校と中学校ゾーンは現代版『厩』（交流広場約1837平方メートル）を挟んで向き合う空間構成となり、広見を中心に一体的な学校環境を形成し、多様な交流創造の場としても活用。また、小中一体整備のメリットとして、児童生徒や教職員のアプローチの共有化を図り、自然発生的な交流

金大用地の活用策示せ
喜多浩一氏（自民） 泉小と泉中の一体整備で、取得協議に入る金大用地の活用策を示せ。山野市長「できるだけ早い時期の取得を望んでいる。泉中の体育館などの整備を想定し、小中一貫教育のモデル校としたい。」喜多氏 中学校通学区の見直しを検討状況を尋ねる。野口教育長「年度末をめどに中学校通学区の再編計画を策定し、その中で中学校選択制についても一定の結論を出したい。来年度、各地域で話し合いを進め、2016年度の実施を目指す。」喜多氏 空き家条例の内容や制定に向けた流れを問う。山野市長 行政指導に加え、市民の意識向上の視点が重要だ。個人資産への行政介入など課題もあり、今後、検討会を設ける。



喜多浩一関連記事
金大寮用地取得へ協議
泉小と泉中の一体整備への検討に入るか協議する。旧弥生小は約1万3千平方メートル、泉中は約2万6500平方メートル。金大用地は、その後の、グラウンドなどの体育施設としての活用を検討する。周辺は住宅密集地であり、広大な敷地を確保することで、防災機能の向上にもつながる。

北國新聞 2014年10月24日付 朝刊

来年度にも空き家条例
所有者に適正管理を促す
市は来年度にも、空き家管理を促すための条例を制訂し、所有者に対して、適正な一定する。放置された空き家の所有権を制

は景観の悪化や老朽化による倒壊につながる恐れがあるため、撤去に関する規定だけでなく、市民の意識向上や建物の有効活用を促す内容となる見通し。
全国の空き家数は昨年10月時点で820万戸となっており、住宅総数に占める比率は過去最高の13・5%だった。市内の空き家率は2008年時点で17・2%と全国よりも高く、市はさらに上昇しているとみている。市は国の法制定の動向を注視し、来年度に有識者や不動産業者らによる検討組織を設けて具体的な内容を議論する。

取得を目指す」とし、取得した場合は、泉中の新体育館用地などに充てる。今後の予定については、年内にも施設建物並びに外構に係る実施設計を委託し、来年度から建設工事に着手する。両校の学校建築物は17（平成29）年春の完成を目指す。教務側は「泉中学校舎部分の供用時期の前倒しも視野に入れ、事業進捗を図っていく」としている。建築基本設計は大屋設計、設備基本設計は中島設備事務所が担当。

建設工業新聞 2014年10月28日付朝刊
北國新聞 2014年10月16日付朝刊